

## お客様へ

●安全に長くお使いいただくために大切な内容です。必ずお読みください。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



誤った取り扱いをすると、人けがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



●点灯異常の際は電源を切る  
異常を感じたときは速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。

●清掃の際は必ず電源を切る  
感電・破損の原因になります。



●可燃物を近づけたり器具の真下に熱源を置かない  
器具を布や紙などの可燃物でおおったりかぶせたり、可燃性の木製・樹脂製の家具を近づけたりしないでください。また真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。

●破損した器具を使用しない  
器具が破損した状態で使用しないでください。速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。

●分解や改造はしない  
器具の分解・改造・部品の追加・変更・塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。

●器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない  
火災や感電の原因になります。

## LED照明使用上の注意

- 器具の近くで他の機器のリモコン(リモートコントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具と他の機器のリモコンを離して使用してください。
- ラジオ、ワイヤレス機器は、なるべく本製品から離して使用してください。雑音が入ったり、誤動作したりすることがあります。
- LED照明は、同一型番でも発光色、明るさが異なることがあります。
- 表示が発光するスイッチを使用した場合、スイッチの発光部が暗くなったり点灯しなかったりすることがあります。
- 照射距離が近いと、光むらが発生する場合があります。

## 保証とアフターサービス

### 保証期間

保証期間は、お買い上げ日より3年間です。  
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。

※物件または使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。

保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証規定をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

### 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510  
仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

法人向けLED照明

ホームページ

<https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/>

製品に関するお問い合わせは(通話料無料)

LED照明サポートコール

0800-111-5300

(受付時間) 平日9:00~18:00、土・日・祝日9:00~12:00/13:00~17:00  
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは(通話料無料)

0800-111-9300

(メールフォームにて記入のうえ送信してください) <https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/>



LX ラインルクス  
スクエア

共通取扱説明書

施工説明付き 保管用

日本国内専用

## 電気工事必要

本製品の取り付け工事は、必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。資格を持たない方による電気工事は、法令で禁止されています。

## 埋込型スクエア照明 共通

このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

### 安全上の注意

#### 図記号の意味

注意を促す記号

してはいけない  
[禁止] 内容

しなければならない  
[指示] 内容

### 施工担当者様へ

#### 警告



必ず実施

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



●破損している照明器具を取り付けない  
感電・火災・落下・けがの原因になります。

●LEDユニット単独では使用しない  
アイリスオーヤマ製LEDベースライト専用器具と、専用LEDユニットの組み合わせ以外では使用しないでください。重大な事故の原因になります。

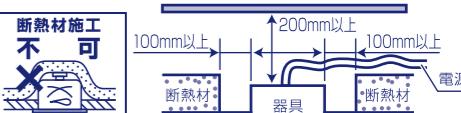
●器具のすき間に金属や可燃物などを差し込まない  
火災や感電の原因になります。

●粉塵・オイルミスト・引火性ガス・虫が発生する場所には取り付けない  
発熱・発煙・火災の原因になります。

●可燃物の近くや熱源の真上に取り付けない  
ドアや建具の開閉範囲の近くに取り付けないでください。被照射物の変形・変色や火災の原因になります。また暖房器具の真上に取り付けると、照明器具が過熱し、火災・感電・落下の原因になります。

●分解や改造はしない  
器具の分解・改造・部品の追加・変更・塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。

●断熱材・防音材は被せない  
断熱材・防音材を被せた状態で使用しないでください。火災の原因になります。設置の際は、器具と断熱材・防音材・造営材などと、図のような空間を設けて施工してください。



#### 注意



必ず実施

誤った取り扱いをすると、人けがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



●屋内の適正温度(5°C~35°C)で使用する  
屋内でも著しい高温で使用すると、故障や発煙の原因になります。高温で使用すると、故障や短寿命の原因になります。

●雨水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けない  
水滴や湿気により絶縁不良になり、漏電・感電の原因になります。

●酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、さびやすい場所には取り付けない  
腐食や落下的原因になります。

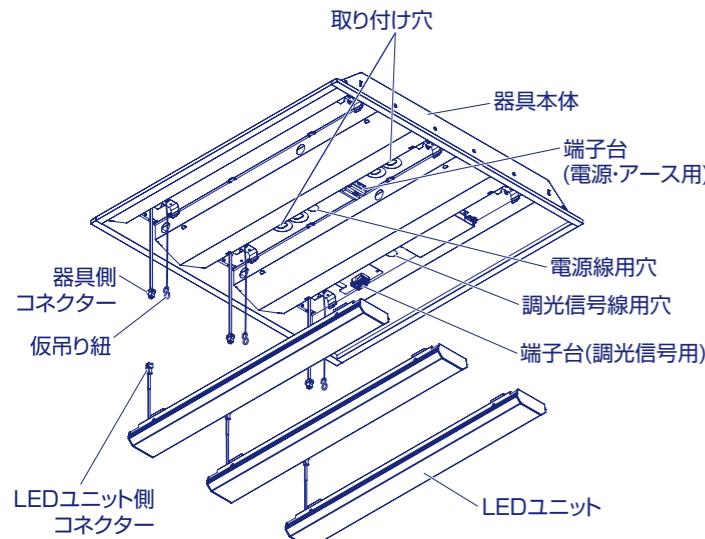
## その他の注意 設置や取り扱いについての注意です。

- 硫黄成分がある場所には取り付けないでください。メッキ工場などのように硫黄成分を含むガス・蒸気・液体にさらされるおそれがある場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。
- 照明器具の電源は、電子レンジやコピー機などの高ワット製品とは回路を分けて使用してください。高ワット製品の使用時にちらつくことがあります。
- 電源方式により騒音(うなり)が大きくなる場合がありますので、以下の配線を行なってください。
  - ・三相電源を使用する場合は、必ず接地側を器具の端子台のN側に接続してください。
  - ・電源と器具間に片切りスイッチを設ける場合は、必ず非接地側(充電側)にお取り付けください。
- 点灯スイッチは、必ず非接地側(電圧側)に取り付けてください。接地側に取り付けた場合、消灯後もランプが薄暗く発光することがあります。(接地極のない電源では両切りスイッチを使用してください。)
- 器具は水平天井以外には取り付けないでください。傾斜天井、壁などには取り付けできません。発熱により寿命が短くなったり落下したりする原因になります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像に縞模様やちらつきが見える場合があります。

## 各部の名称

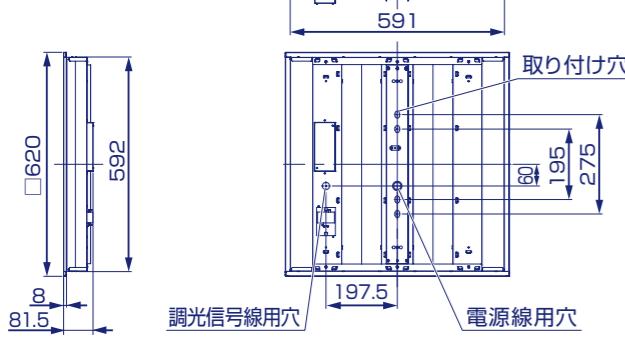
## □600、□450タイプ

&lt;図は□600タイプ&gt;

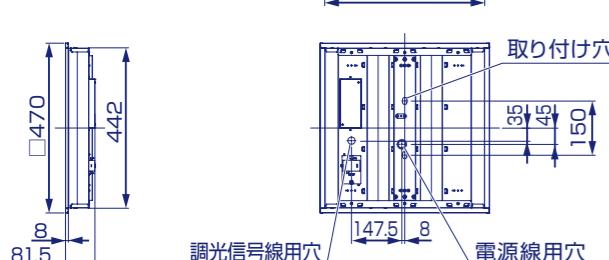


## 器具本体背面図

## □600タイプ

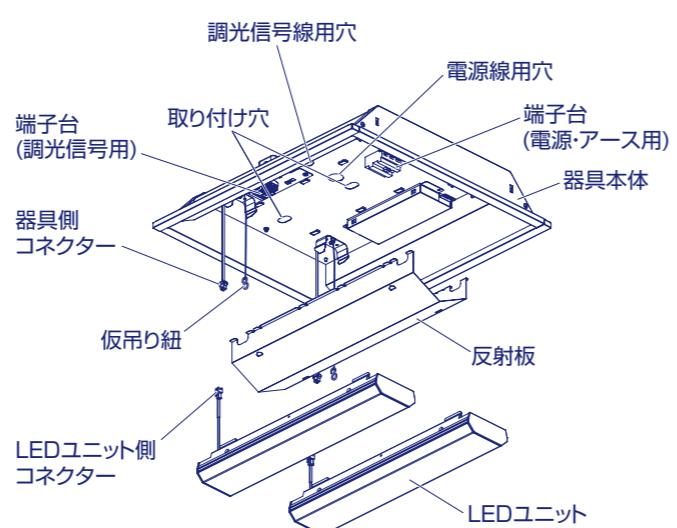


## □450タイプ



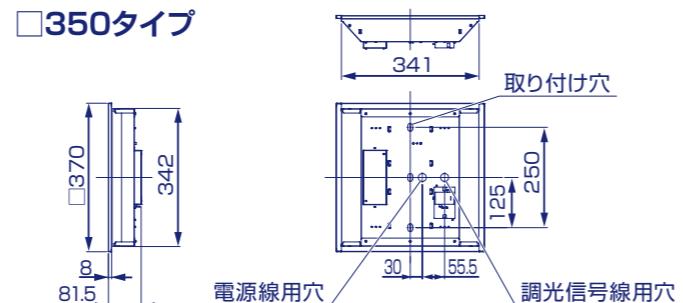
## □350、□275タイプ

&lt;図は□350タイプ&gt;

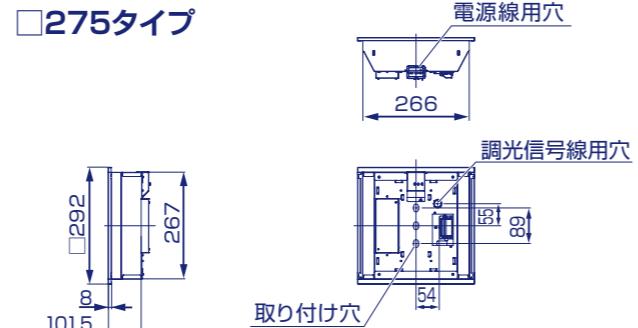


単位:mm

## □350タイプ



## □275タイプ



## 品番構成・仕様

## ■品番構成 [表記例] BL-122N-UKLXSQ60-D

(器具光束(目安))	×100 (lm)	(色温度)	(タイプ)
		N:昼白色(5000K)	60:□600タイプ
		W:白色(4000K)	45:□450タイプ
		WW:温白色(3500K)	35:□350タイプ
		L:電球色(3000K)	27:□275タイプ

## ■仕様

タイプ	サイズ (mm)	質量 (kg)
□600	L620×W620×H81.5	3.8
□450	L470×W470×H81.5	2.9
□350	L370×W370×H81.5	1.9
□275	L292×W292×H101.5	1.6

●使用電源: 定格電圧AC100-242V、定格周波数 50/60Hz

●PWM信号制御方式

●LEDモジュール設計寿命: 40,000時間

※LEDモジュール設計寿命は、LEDが点灯しなくなるか、初期光束の85%に低下するまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。製品の寿命を保証するものではありません。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

## 取り付け前の確認と取り付けの基本注意

## ●造営材の強度確認

ボルト取り付け部の強度、天井材の強度が、器具質量に十分耐えることを確認してください。

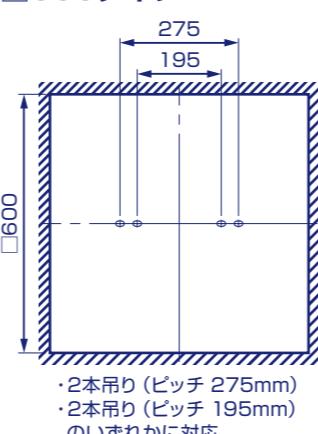
※器具質量は、仕様を参照してください。  
取り付けボルトはW3/8またはM10を使用してください。  
不備があると落下の原因になります。

## ●天井の取り付け位置と寸法確認

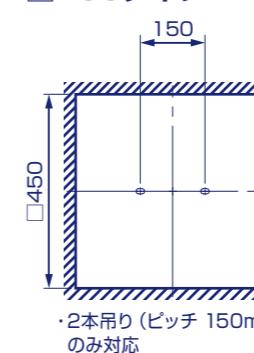
天井の取り付けボルト位置と埋め込み穴の位置・寸法が、下図に対応することを確認してください。

(参考) 天井の取り付けボルト位置

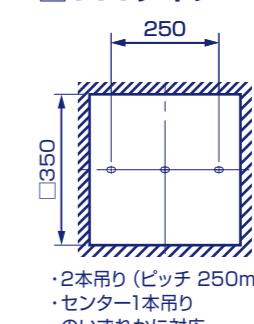
## □600タイプ



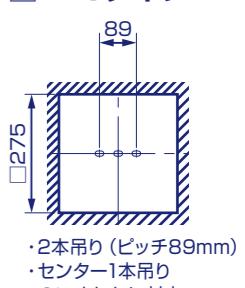
## □450タイプ



## □350タイプ



## □275タイプ



⚠ 取り付けボルト位置は造営材の構造により調整してください。



# 取り付けかた

●部品は正確に取り付けてください。

## 1 安全確保のため、電源を遮断し、手袋を着用する



### 警告

- 電源を遮断しないで作業した場合、感電・短絡事故の原因になります。
- 作業の際は、必ず手袋を着用してください。けがの原因になります。

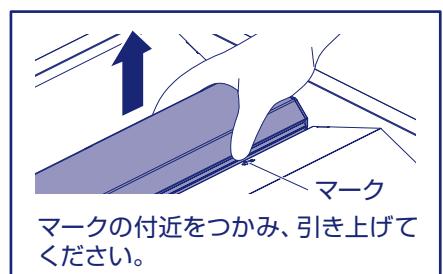
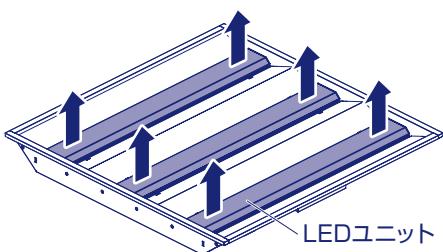
## 2 器具の取付前準備

### □600、□450タイプの場合

〈図は□600タイプ〉

#### ●LEDユニットを取り外す

器具の△マーク付近のLEDユニットをつかみ、左右同時に引き上げてください。

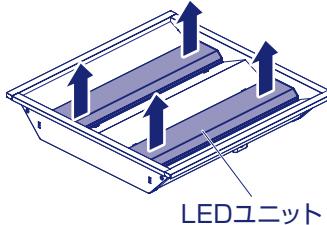


### □350、□275タイプの場合

〈図は□350タイプ〉

#### ●LEDユニットを取り外す

器具の△マーク付近のLEDユニットをつかみ、左右同時に引き上げてください。



#### ●反射板を取り外す

反射板

横から見た図



- ① 器具の△マーク付近4か所をつめ部が見えるまで内側へ押して、引っ掛けりを外します。
- ② ①のまま反射板を片側だけ持ち上げて、器具本体からゆっくり外してください。
- ③ もう片方をそのまま引き上げて、反射板を取り外してください。

## 3 天井に器具本体を取り付ける

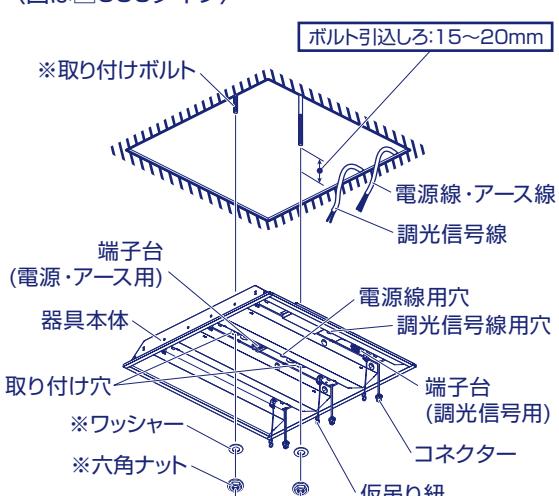
●電源線・アース線、調光信号線を本体の電源線用穴と調光信号線用穴からそれぞれ引き込みます。

●同時に本体へ取り付けボルトを通して、その後ワッシャー・六角ナットで本体を固定します。

※取り付けボルト・ワッシャー・六角ナットは付属していません。

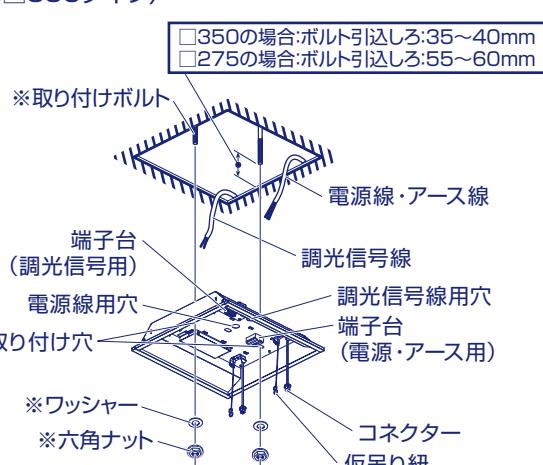
### □600、□450タイプの場合

〈図は□600タイプ〉



### □350、□275タイプの場合

〈図は□350タイプ〉

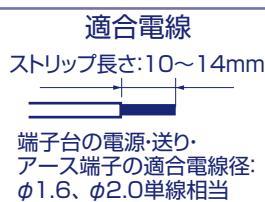
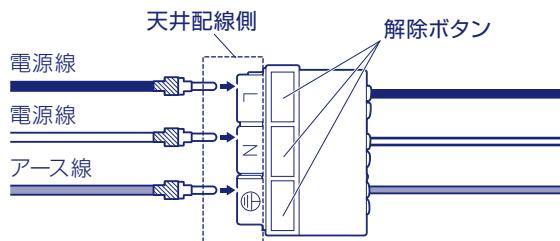


- 取り付けボルトには必ずワッシャーを入れ、ナットは必要以上に強く締め付けないでください。器具破損の原因になります。(推奨トルク値:0.5N・m)
- 600、□450タイプの取り付けボルトは必ず2本以上使用してください。またボルトの引込しろは、器具内部の安全確保のため必ず守ってください。

## 4

## 電源線・アース線を接続する

電源線、アース線を端子台に確実に差し込みます。  
※各配線の芯線が露出しないよう差し込んでください。差し込みが不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因になります。



※端子台の容量は20Aです。  
※D種接地工事を行ってください。  
※電源線・アース線を抜くときは、解除ボタンを押しながら一本ずつ引き抜いてください。



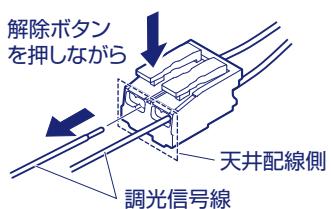
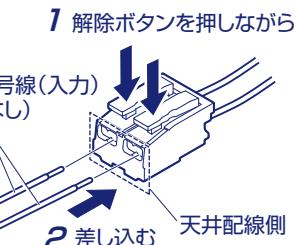
電線接続後器具内の余分な電線は、LEDユニットへの当たりを防ぐため、配線引込み穴へ押し込むか、電線を押しつけて処理してください。



## 5

## 調光信号線を接続する

- 信号線に極性はありません。信号線の接続は、信号制御器の取扱説明書にしたがい、確実に行ってください。
- 解除ボタンを押しながら、調光信号線を奥まで確実に差し込んでください。解除ボタンを開放して調光信号線が抜けないことを確認してください。
- 信号線用端子台の容量は3Aです。接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、正常に調光できなくなります。



※調光信号線の取り外し  
調光信号線を引き抜く場合は、解除ボタンを押しながら1本ずつ引き抜いてください。

## 6

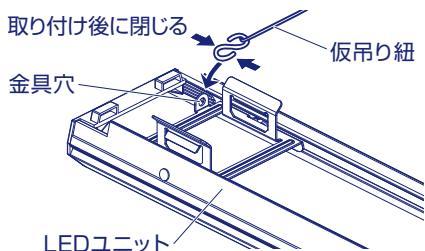
## 器具本体にLEDユニットを取り付ける

## □600、□450タイプの場合

〈図は□600タイプ〉

## ●LEDユニットを取り付ける

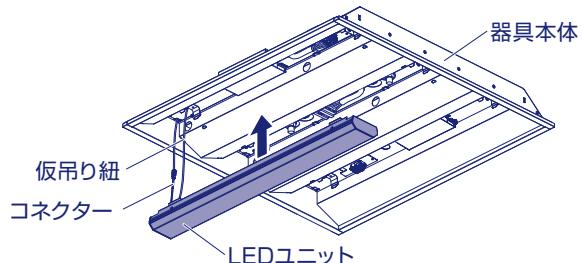
- ① LEDユニット側の金具穴に、器具側の仮吊り紐のSフックを取り付けて、プライヤーなどで両側から閉じて容易に外れないようにしてください。



- ② LEDユニットのコネクターを、器具側のコネクターに接続してください。



- ③ LEDユニットを器具と平行に、まっすぐ押し上げてください。



- ④ 残りの2本も同様に取り付けてください。

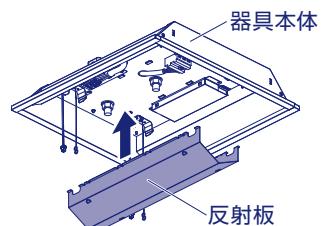
※□350、□275タイプは先に反射板を取り付けます。

## □350、□275タイプの場合

〈図は□350タイプ〉

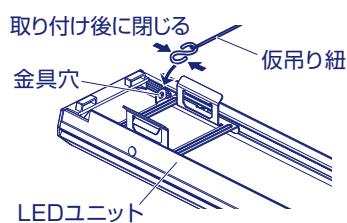
## ●反射板を取り付ける

取り外した反射板を、元の位置に取り付けてください。反射板に汚れがついているときは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。



## ●LEDユニットを取り付ける

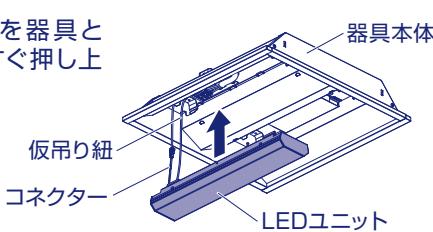
- ① LEDユニット側の金具穴に、器具側の仮吊り紐のSフックを取り付けて、プライヤーなどで両側から閉じて容易に外れないようにしてください。



- ② LEDユニットのコネクターを、器具側のコネクターに接続してください。



- ③ LEDユニットを器具と平行に、まっすぐ押し上げてください。



- ④ 残りの1本も同様に取り付けてください。